

お知らせ 全国海難防止強調運動がはじまります

7月16日から7月31日までの期間、皆様の海難防止への意識を更に高めていただくため、「海難ゼロへの願い」をスローガンに、様々な海難防止活動を行います。第二管区海上保安本部では、東北地区各地で巡視船の一般公開などにあわせ啓発活動、訪船指導を行います。

平成27年5月 船舶事故

機関故障2件、推進器障害1件、運航阻害1件、船位喪失1件

事故事例（船位喪失/陸奥湾平館沖）

プレジャーボートAは、陸から3海里離れた海域で釣りをし楽しんでいましたが、釣果が思わしくなかったことから、沖へ移動したところ、急な濃霧に覆われ船位が分からなくなりました。同船は霧の中ホイッスルを鳴らし自船の位置を他船に知らせながら、港に戻ろうと走り回りましたが戻ることができず、燃料切れとなったため118番通報しました。



救助されるプレジャーボートA

原因と対策

自船の位置を把握するのは船乗りの基本です。自船の位置を見失わないようにGPS、コンパス、海図などを備えるようにしましょう。もし、自船の位置がわからなくなった時は、無理に航行せずに停止して救助を要請しましょう。救助がくるまでの間、定期的にホイッスルや汽笛等を鳴らし、他船に自船の位置を知らせましょう。

～自船位置を見失わないために～

- ・GPS
- ・コンパス
- ・海図

これから秋口にかけては霧の発生が多い時期です。これらの道具を用意しましょう！



ワンポイント講座

～自船位置の把握～ 船乗りの基本です！

現代の世の中にはGPSという便利なシステムがあります！スマートフォンなどに備わっているGPS機能を活用すれば自身の位置を把握することができます！

GPS機能を「ON」にし、地図アプリを起動することで、自身の位置が表示されます。地図上には方位も表示されますので、コンパスを併用すれば目的地へ向かうことができます。

アプリにもよりますが、電波の届かない海域では地図情報が表示されない可能性がありますので、沖合いに出る場合は地図ダウンロード型のアプリを使用してください。

【参考】スマートフォン 地図画面



事故事例（負傷・秋田港周辺）

釣りを終え、帰港中のプレジャーボートB（2名乗船）は、途中タグボートとすれ違いました。航走波がくると思い、船長はもう一人の乗船者に「波が来るぞ！」と注意喚起し、減速、船首を波に立てました。船首部にいた、乗船者はクーラーボックスにつかまっていたが、航走波の影響による船体動揺で、体が浮き上がって手が離れ、クーラーボックスに身体を打ちつけ、左肩脱臼、肋骨骨折等の大怪我を負いました。



原因と対策

航走波に対しては、減速して船首を波に立て、乗船者は安定した姿勢を保つことが重要です。事例では、乗船者は不安定なクーラーボックスではなく船体又は船体に固定されたロープ等につかまって姿勢を保つ必要がありました。怪我をしてはせっかくの楽しい釣りも台無しです。自身の安全確保もしっかり行ないましょう。



自分の船が起こす波も他の小船に影響を与えるから、近くに小船がいる時にはお互い速度を落とそうね！

海の安全情報

「MICSスマートフォン用サイト」7月1日から正式運用開始

4月10日から試験運用していた、スマートフォン用サイトは、7月1日から正式に運用を開始しました。

スマートフォン用サイトの特徴

様々な情報が同一画面で確認できます！

地図画面上で海域の気象や緊急情報などが一目でわかります！

現在地が表示され、周辺情報が確認できます！

船舶の安全運航等に必要な情報が入手できます！

海上安全情報
(工事情報など)

緊急情報

気象情報



MICS（沿岸域情報提供システム）では、海上保安庁に入ってくる様々な海の事故防止に役立つ情報を、インターネット、電子メール等により、プレーボート、漁船などの運航者や磯釣り、マリンスポーツなどのマリレジャー愛好者の方々などに対して、リアルタイムに提供しています。



こちらにアクセスして
使って見てね！



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

MICSスマートフォン用サイト
(沿岸域情報提供システム)

